

# ■ヤドリバエ科？

この間、マンションの廊下でこんなハエを見つけてました。

私は外観からてっきりシマバエ科ではないかと思いましたが。シマバエ科なら属の検索もできるしと思つて、採集してきました。ところで、顕微鏡で眺めているう



ちに、どうも変だということに気が付きました。覆弁があるのです。一方、シマバエ科は無弁翅類です。そこで、簡単な検索を試みるとやはりヤドリバエ科らしいことが分かりましたが、「ヤドリバエ」で画像検索してもこんなハエは見当たりません。やはり違うのかなと思つていたら、通りすがりさんから訪花性のヤドリバエらしきハエをよく見ますというコメントをいただきました。それで、意を強くしてちゃんと検索をやってみることにしました。

検索は「原色昆虫大図鑑 Ⅲ」の検索表を用いました。有弁翅類の科までの検索なのでこれだけです。

## 有弁翅類の科への検索表

- ①口器が発達し、口吻は大きく機能的
- ②中脚の副基節はほぼ縦に配列された長剛毛列を生じる。M1脈は通常は中程で強く前方に屈曲する
- ③中央背板の下小盾板域が小盾板の下に膨らみのある土手状に発達する

## ヤドリバエ科

また、例によって検索の項目を写真の中に書き込みました。だから、写真だけ見ればよいことになっています。Fig. 1はハエを横から見た写真です。翅の付け根に端覆弁と基覆弁という覆弁がついています。従つて、有弁翅類であることは確かです。まず、検索表の①は口器が発達していることですが、この写真のように普通に発達しています。

②は中脚副基節に縦に並んだ剛毛列があることですが、Fig. 1で示した通り、翅側板刺毛と書いた剛毛列があります。②の後半のM脈についてはFig. 2を見て下さい。M脈は最初はM2脈と共通のM1+2脈として翅端に向かって進みます。翅端近くになると、M脈は通常はそのまま翅端に向かいますが、M脈はここで別れてぐにやっと曲がってR4+5脈に近づきます。このハエの場合はM脈は途中で終わっているかと解釈します。なお、翅脈の名称は「大図鑑」によっています。これらの結果、項目②はOKということになります。最後の③はFig. 3を見て下さい。小盾板の下に後小盾板という出っ張りがありま

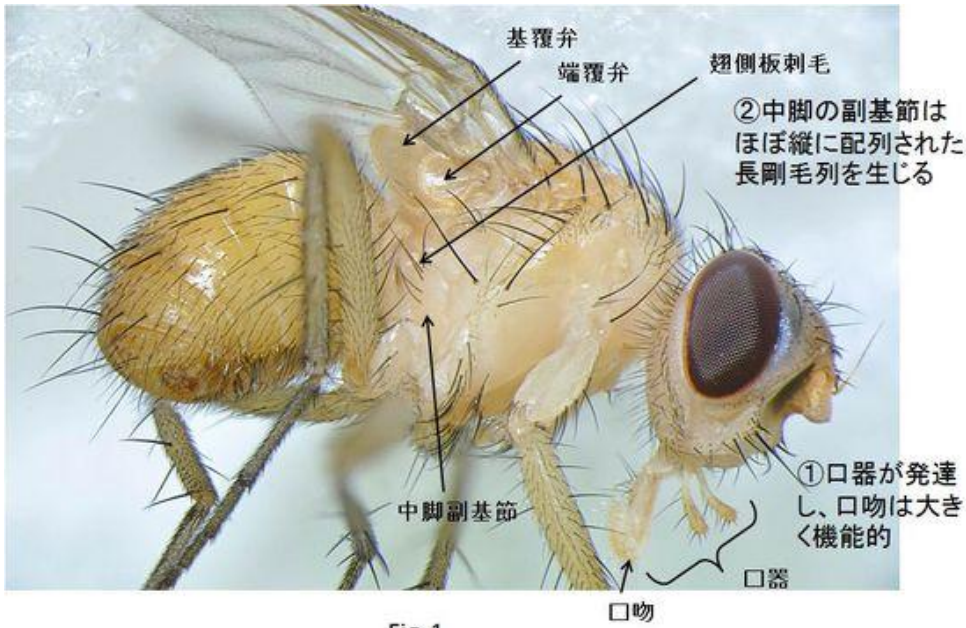


Fig. 1

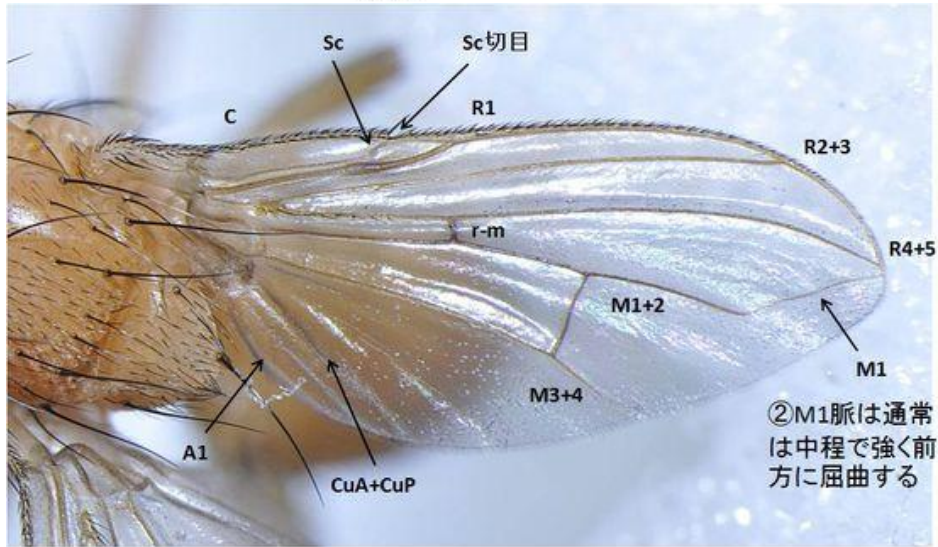


Fig. 2



Fig. 3

す。これが土手状の膨らみのことだと思います。実はこの写真はなかなか撮りにくくて何度か撮り直しました。すぐに翅が隠してしまうので・・・。いずれにしても、これでヤドリバエ科であることが分かりました。ここから先の検索表が見

当たらなかったのです。今回はこれで終わりです。

いくつか写真を撮ったので、ついでに載せておきます。

Fig. 4は翅の根元にある覆弁を写したものです。Fig. 5は胸背を写したのですが、ついでに剛毛(刺毛)の名前をつけてみました。「大図鑑」の図を見ながらしてみましたのですが、だいぶ間違っているかもしれません。

Fig. 6は横からです。まだ、名前がつけ



Fig. 4



Fig. 5

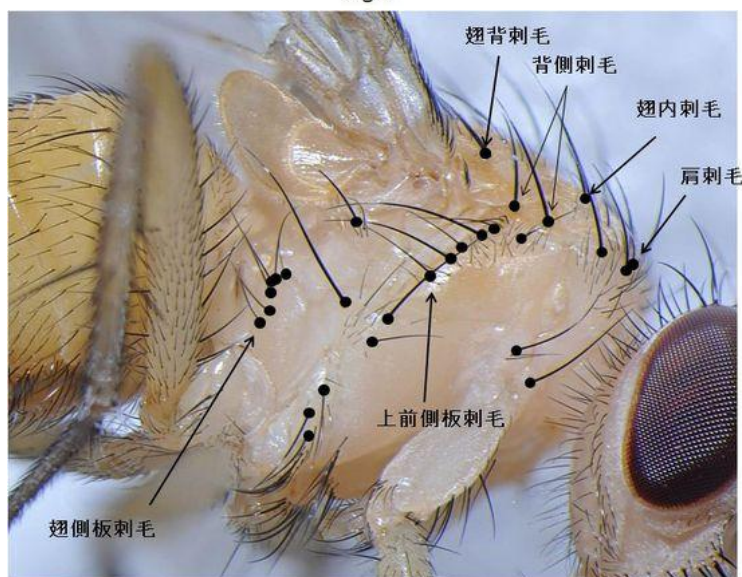


Fig. 6

られない剛毛もいくつかあります。

そしてFig. 7は顔面です。各部の名称も入れてみました。Fig. 8も口器の部分を含んだものです。撮影途中で少し動いてしまっ、下の部分が二重になってしまいました。

これから冬になると虫がいなくなるので、ついついハエの写真を撮ることになりま

す。そうすると、名前を調べることになり、いつもこんな検索をしなくてはなりません。今回はその予行練習でした。(2015.10.7記)

(追記2015/10/09:通りすがりさんから、「ヤドリバエはごく一部の種以外は、素人には同定不能ですからね。ヤドリバエは分かるだけで三〇種ほど見られますが、

名前が分かるのはクロヒゲナガハナバエ  
 ♀ *Pentatomophaga latifascia* (Villeneuve,  
 1932)くらいです。このハエも毎年見られ

ますが、情報は全くと言っていいほどあ  
 りませんからねえ...」というコメントを  
 いただきました。ヤドリバエはかなり難  
 しそうですね。ちなみに、*Manual of*  
*Nearctic Diptera Vol. 2* に載っている属の  
 検索を試してみようと思ったら、検索の項  
 で挫折です）  
 目が実に三四七もありました。見ただけ

しそうです。ちなみに、*Manual of*  
*Nearctic Diptera Vol. 2* に載っている属の  
 検索を試してみようと思ったら、検索の項

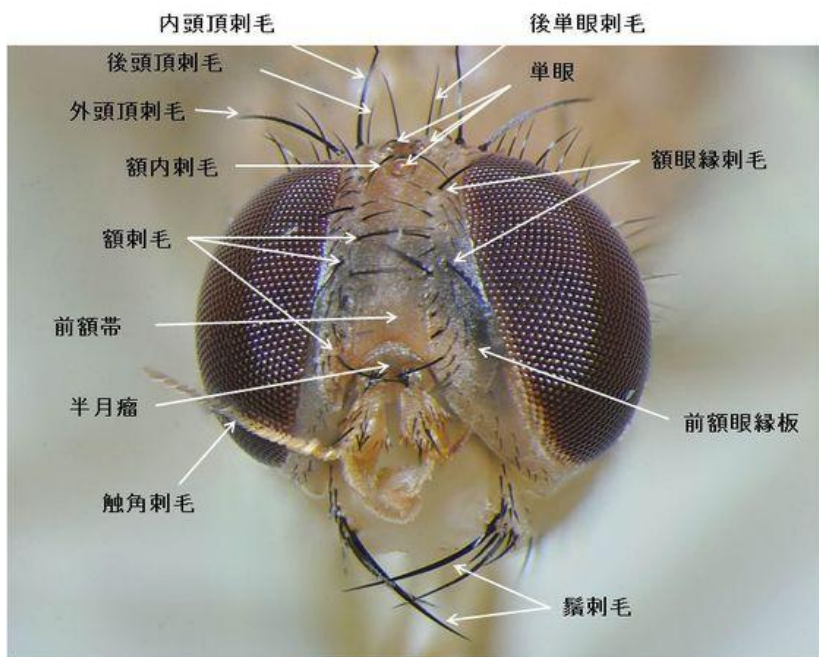


Fig. 7

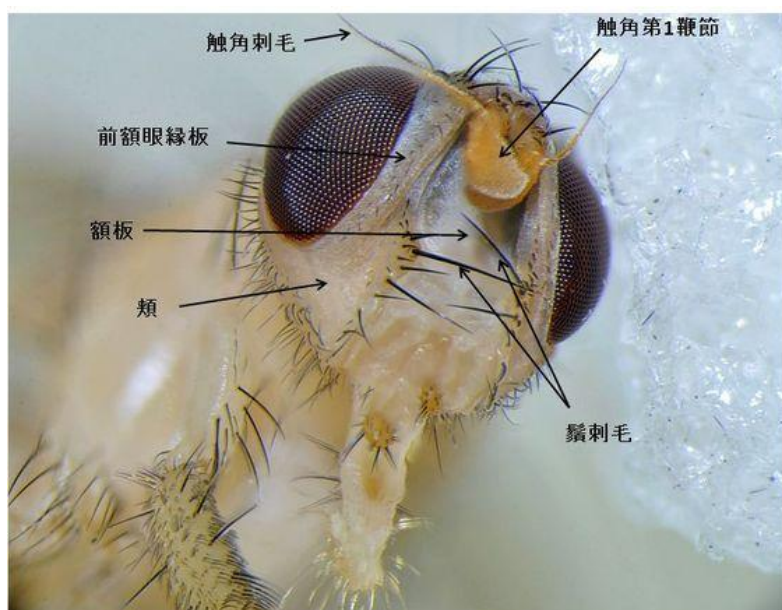


Fig. 8